

収支の試算結果

I パターン1 (空港管理運営に係る収支)

1 キャッシュフローベースの収支 (単位:千円)

区 分	22年度(12ヶ月) a	21年度(10ヶ月) b	差引額(a-b)	増減率(%)
収入	258,459	206,432	52,027	25.2%
支出	671,633	644,268	27,365	4.2%
収支	△413,174	△437,836	24,662	5.6%

収支増減の主な要因:収入支出ともに増加したが、着陸料等収入が12ヶ月分(9ヶ月→12ヶ月)となったことにより、収支は約2,500万円、対前年度比5.6%改善した。

2 企業会計の考え方を取り入れた収支 (単位:千円)

区 分	22年度(12ヶ月) a	21年度(10ヶ月) b	差引額(a-b)	増減率(%)
営業収益+営業外収益	254,461	228,002	26,459	11.6%
営業費用+営業外費用	673,155	644,268	28,887	4.5%
経常損益	△418,694	△416,266	△2,428	△0.6%

経常損益増減の主な要因:対象期間が10ヶ月から12ヶ月となったことにより、収益、費用ともに増加し、経常損益は昨年度とほぼ同額となった。

II パターン2 (空港管理運営及び空港整備に係る収支)

1 キャッシュフローベースの収支 (単位:千円)

区 分	22年度(12ヶ月) a	21年度(10ヶ月) b	差引額(a-b)	増減率(%)
収入	739,881	497,935	241,946	48.6%
支出	1,983,956	1,653,159	330,797	20.0%
収支	△1,244,075	△1,155,224	△88,851	△7.7%

収支増減の主な要因:ターミナル地区西側整備事業実施に伴い、収入、支出ともに増加した。同事業の収支差額(一般財源投入額)が約1億800万円となったことにより、収支は約8,900万円、対前年度比7.7%悪化した。

2 企業会計の考え方を取り入れた収支 (単位:千円)

区 分	22年度(12ヶ月) a	21年度(10ヶ月) b	差引額(a-b)	増減率(%)
営業収益+営業外収益	388,536	322,551	65,985	20.5%
営業費用+営業外費用	1,955,875	1,924,224	31,651	1.6%
経常損益	△1,567,339	△1,601,673	34,334	2.1%

経常損益増減の主な要因:空港整備経費の財源として国交付金が充当されて、収益が増加したことなどにより、経常損益が約3,400万円、対前年度比2.1%改善した。